

光市記者発表資料

平成 28 年 9 月 30 日

件 名 移住促進用パンフレットの作成について

内 容

このことについて、下記のとおり作成しましたので発表します。

記

1 作成の目的

「子育てしやすいまち」という本市のイメージをさらにアピールしていくため、昨年、制作した人口定住促進動画「ひかりのまち」に続くプロモーション活動として、特に、若い世代の移住検討者に、シティセールスの観点からまちの特性を積極的に発信するとともに、本市への移住検討を促進するために作成した。

2 パンフレットの特徴 ～徹底した移住者視点で作成～

(1) 市民との協働による手作り

企画の段階から取材、制作、編集にいたるまで、本市へ移住した市民の方と協働で行った(6月～9月の3か月間)。

【協働いただいた市民の方】

- ・企画、取材、制作、編集
佐々木 淳志さん(岡山県倉敷市から移住)
- ・制作、編集
松本 奈津美さん(岩国市から移住)
- ・表紙撮影
渡辺 美沙さん(下松市から移住)

(2) 移住経験者や市民の声(意見・感想)を集中的に掲載

移住関連のパンフレット等の中で、特に読者の関心が高いとされる「住民の声」については、協働いただいた3人の「編集後記」をはじめ、3人の移住体験者へのインタビュー、さらに本市在住の16組のご家族から「光市の子育て環境」についてのアンケートを掲載するなどリアリティのある構成としている。

(3) インパクトがある表紙とフレーズ

本市の「売り」や「イメージ」を分かりやすく伝えるため、表紙には、乳児が母親の胸の中で抱きしめられている写真を採用するとともに、全国でも先進的なコミュニティ・スクールの取組みをはじめ、熱心なPTAやおやじの会の活動、さらに、きめ細かい母子保健推進員の訪問体制などの本市の特性を、良い意味での「おせっかい」というフレーズで表現した。

3 パンフレットの活用方法

● 県外

- ・東京都の23の全区役所(※10月中旬～)や、「やまぐち暮らし東京支援センター」などの関連事務所の移住コーナーに配置
- ・移住関連フェアで参加者に配布

● 市外

- ・JR徳山駅構内に配置
- ・高速道路の宮島(下り)、美東SA内(上り、下り ※10月中旬～)に配置

● 市内

- ・光市観光協会
 - ・光市商工会議所
 - ・産婦人科病院(梅田病院、みちがみ病院)
 - ・結婚式場(ホテル松原屋、マリーズヴィル光)
- } 配置

※パンフレットを、窓口への配置や、市外の顧客等にお渡しいただける事業所を募集中です。

担当所管 光市政策企画部企画調整課 移住・定住促進担当 温品 大輔
(0833) 72-1400 (内線 212)

●パンフレットの編集について意見交換をする市民の皆さん



(奥 左から、渡辺さん 佐々木さん 松本さん)

●光市移住促進用パンフレット「おせっかいな おっぱい都市」

